

鎌倉の建長寺で行っている勉強会です。今年もたくさん先生の先生方がお話しをして下さいます。どなたでも予約なしでご参加できます。気軽にお越し下さい。円覚寺、建長寺共、入口で入山料五〇〇円。会場で資料代五〇〇円をお納め下さい。では、会場でお会いしましょう。

令和五年 公開講座「鎌倉禅研究会」のお知らせ

第百八十一回 一月十二日(木) 十三時～十六時半(於 円覚寺) ※会場注意円覚寺さんです

今、改めて盤珪禅師に学ぶ

駒澤大学教授 小川 隆 先生

中国の禅と日本の禅——道元・盤珪・白隠——

円覚寺派管長 横田 南嶺 老師

第百八十二回 二月七日(火) 十三時～十六時半(於 建長寺) ※曜日注意

室町期の禅——幻住派の禅——

駒沢女子大学学長 安藤 嘉則 先生

鎌倉時代初期の『坐禅儀』について

駒沢大学名誉教授 石井修道 先生

第百八十三回 三月九日(木) 十三時～十六時半(於 建長寺)

特別展「東福寺」開催にあたって

東京国立博物館学芸員 高橋 真作 先生

鎌倉時代の禅と茶

駒沢大学講師 舘 隆志 先生

第百八十四回 四月十三日(木) 十三時～十六時半(於 建長寺)

蘭溪和尚とその時代

法政大学講師・建長寺研究員 彭 丹 先生

禅宗の読誦経典

鶴見大学講師・徳善寺住職 尾崎 正善 先生

第百八十五回 五月十一日(木) 十三時～十六時半(於 建長寺)

佐々目僧正 頼助について

神奈川県金沢文庫学芸員 三輪 眞嗣 先生

講師交渉中

第百八十六回 六月二十二日(木) 十三時～十六時半(於 建長寺)

中世鎌倉に於ける方位と方向

NPO鎌倉考古学研究所所員 玉林 美男 先生

鈴木大拙ハートII

筑波大学非常勤講師・円覚寺職員 蓮沼 直応 師

第百八十七回 七月六日(木) 十三時～十六時半(於 建長寺)

蘭溪和尚とその時代II

法政大学講師・建長寺研究員 彭 丹 先生

建長寺研究ノート

建長寺研究員 鈴木 佐 先生

第百八十八回 八月三十一日(木) 一三時～十六時半(於 建長寺)

鎌倉と平家物語

駒沢大学教授 桜井 陽子 先生

平曲を聴く

新潟大学名誉教授 鈴木 孝庸 先生

※裏面に続きます

第百八十九回 九月十四日（木）

十三時～十六時半（於 建長寺）

関東の室町文化

明星大学准教授 芳澤 元 先生

茶の湯の成立と展開

京都造形芸術大学講師 橋本 素子 先生

第百九十回 十月二十六日（木）

十三時～十六時半（於 建長寺）

一切経の受容と天源院

東洋大学講師・広福寺副住職 白川 宗源 先生

金仙寺の一切経と秩父の文化

東京大学史料編纂所准教授 川本 慎自 先生

第百九十一回 十一月三十日（木）

十三時～十六時半（於 建長寺）

天目山棲雲寺いろいろ

棲雲寺住職 青柳 真元 師

特論「蘭溪道隆」

花園大学教授 衣川 賢次 先生

第百九十二回 十二月十四日（木）

十三時～十六時半（於 建長寺）

「大鑑清規」報告

禅居院住職 山名田 紹山 師

蘭溪道隆禅師の公案

足利大学講師・福厳寺副住職 采澤 良晃 師

建長寺の塔頭と薬

福厳寺寺庭 采澤 妙華 さん

★十三時支度開会 第一講：九十分 第二講：九十分 十六時二十分終了

※都合で変更があるかもしれません。

※鎌倉禅研究会フェイスブックページがございます。

※お車での来山はご遠慮願いますが、止むを得ない場合は、所定の駐車料金をお支払い下さい。

※拝観料五〇〇円は入口にて。資料代五〇〇円は会場の箱に入れて下さい。

◆お問い合わせ 〒二〇五〇〇二二 東京都羽村市川崎二八二〇 宗禅寺 高井正俊

携帯 〇九〇・三二〇七・二二九八 携帯メール takaitanki@docomo

宗禅寺ホームページ <https://hamura-souzenji.com>

建長寺内務部 〇四六七・二二・〇九八一

令和五年正月

大本山建長寺 鎌倉禅研究会